

ブライテス

Brightness

ネス

三和グループ社内報[ブライテス]2022 新春号

株式会社三和サービス

三和道路維持株式会社

株式会社エイチ エム エス

サンワ警備保障株式会社

<http://www.group-sanwa.co.jp>

83

会社への貢献
ありがとうございます!



社員表彰

2021年12月15日(水)

岐阜市リフレ芥見 館長 関戸 浩治 さん

今年10月に岐阜市リフレ芥見の専用ホームページを全面リニューアルし会社へ貢献されました。今後も業務改善のみならず、あらゆる側面から会社へ貢献した皆様を感謝を持って表彰いたします。



岐阜市リフレ芥見 専用ホームページ▶

◆ 令和4年は三和サービス創業50周年の節目の年です。いまだコロナ禍にありますが、新しい年のスタートこそ、希望を持って前へ!

◆ 新春号は恒例の三和サービス・林信之会長のインタビューをお届けします。「みなさんに伝えたいことがあります!」という会長の一言で始まった今回。じっくりと耳を傾けましょう。

常に「疑問」を持つ。 自分を改善し、未来の道へ。

●今年もよろしく願っています。

会長 これらこそ、よろしく願っています。今回は私が強く思っていることで、ぜひ皆さんにお伝えしたい思いがあります。それは「興味を持つ、疑問を持つ」ということです。

たとえば、私はアニメの世界はよく知らないけれども、このアニメはこういうことを言っていたのか?と驚くことがあります。なぜ日本のアニメが、日本の最新文化、世界の文化となりうるのか。そこに疑問を持っている最中です。

私たちの仕事も然り。「この方法でいいの?」「良くする方法は?」と、常に疑問を持ち、改善、改良を考えること。つまり、今までのやり方をただ漫然とやっつけてはいけません。そのためには人を頼っていただくため、自分をどう改善するのか?と考えるのはいいのです。



●具体的にできることはあるでしょうか。

会長 日頃の業務でいえば、営業職ならば営業日誌の書き方も考えてみてください。お客様と話す時間、車に乗って移動している時間、本社や営業所にいる時間。それらを記録していけば、大きな反省につながり、自分の仕事に生きてきます。車に乗る時間が多すぎるとあれば、それは現場への指示の仕方が良くないのであり、現場の人にとっても無駄が多いということ。その一方、お客様と話す時間が多ければ、仕事のヒントを得る機会が多いのではと考えます。

清掃職もつねに「方法はこれでいいの?」「能率を上げるには?」と考えてください。能率を上げるということは、言葉は良くないかもしれませんが、「もう少しラクにできないか?」ということなのです。

●改善の余地を見つけていくことですね。

会長 その通りです。お客様の話を聞いて、お客様の困りごとを聞くことも大事で、困りごとから生まれる我々の仕事はいくらかでもあります。大きな仕事を受注し、成し遂げると達成感がありますが、それを失うと致命傷になります。だから小さい仕事をコツコツとやっつけていくことが肝要なのです。小さいものであれば、たとえ失つても損失は小さくすみ、また次を探せます。

たとえば少し古い話ですが、皆さんが良く知る大手電機メーカーはブライダルに目をつけたことにより、当時、三種の神器といわれたテレビ・冷蔵庫・洗濯機の販売で伸びることができました。警備サービス企業の最大手は個人宅のガード(防犯)を展開することによって大成しています。とにかく小さい仕事を積み重ねること。営業職、清掃職を問わず、仕事が増やせるかどうかと常に考え、お客様から困りごとを聞いてみてください。

●いまだコロナ禍が続きます。今後の展開は?

会長 コロナ以降もどうなっていくかわかりません。でも混乱の世界だからこそ、大手ではない我々のような企業が入っている機会があり、コンピューターを利用した世界ならやれる、と自身は考えています。言い換えれば、人材が少ない中、コンピューターを駆使してやっつけていくべき時が来ています。

●会長がこの数年取り組むデータサイエンスにもつながりますね。

会長 私が「データ」や「データサイエンス」ということを言い始めたのはこの社内報をみてもらえばわかりますが、このことをなんとなく一つの流行なんじゃないの?と感じている人もいます。でも、私がデータについて関心を持ち続けている理由は、流行ではなくて、根本的な問題だと確信しているからです。

INができていくのは統計学があつてこそ。医者も診察も統計学、というお話は前にしましたが、経験が統計学であり、数多くの症例に対応してきた医者が名医と言える私は思います。

今、私がデータを扱う勉強に取り組んでいて思うのは、プログラミング*1を各自でできるようになることが必要、ということ。膨大な作業を毎回手作業でしていたら時間も労力ももったいない。今後、さらに人口が少なくなれば、事務職の求人しても人は来なくなり、事務処理を効率よく行うようにしなければなりません。

これからは皆さんにもプログラミングをぜひ勉強してほしい。今まで1時間、1日とかかっていたものが、たった1秒ですむようになる。当社では滋賀大学データサイエンス学部の先生がたに教えていただく機会もあります。やる気のある人はぜひ挑戦してください。

●会長は米寿を迎えられるのですが、好奇心がすごいですね!

会長 そうですか(笑)。振り返ってみると私は幸福な人生で、困難も多かったけれども、もつと知りたいたい!他に方法はなにか?と疑問を持ちながらこれまでやってきました。

私は若い時は丈夫でなく、まわりの同級生たちにも林が一番先にあの世に行くだろうと言われていたのに、今も自分の思うことができていて、ありがたい人生だと思います。人生は先がわかるわけじゃない。皆さんも疑問を持って、興味を持って何事も取り組んでみてください。

*1 プログラミングとはコンピューターで使うプログラムを作成し、コンピューターに実行してほしい作業の指令を作ること。プログラムとはコンピューターに実行してほしい一連の作業を順番に記載したもので、プログラミング言語によって記述されます。

*2 コマンドとは命令や指揮を意味する語で、この分野では人間からコンピューター、機器間などで交わされる実行すべき処理の指示や依頼などを指します。



SANWA REPORT 全社員会議

令和3年11月9日(火)開催

「成長と分配」は人々の付加価値を上げることが鍵

三和グループ代表/林 信之 会長

今回の講話では林会長が「成長と分配」をテーマにお話をされましたので、その抜粋をお伝えします。変わっていく時代にあって、企業の一員として個人として、どう考え行動していくべきか?おもて面の会長インタビューと合わせてご一読ください。

「成長と分配」で、話をしたいと思います。これは、現総理のキャッチコピーの一つです。次にあげるデータは数日前に日本経済新聞に掲載された記事で、「これからの社会は格差が出来、特にサービス労働者と知識労働者の間に、生産性の乖離が大きい」と示しています。サービス産業には物流、介護や看護、小売りなど幅広い業種が含まれます。生産性の低い業種の中には、我々清掃業務も含まれています。記事では「データや人工知能(AI)で武装した一部知能者労働者は、ますます富を集めていくであろう」と結んでいます。

しかし、我々は、予想される道を歩むのではなく、切り抜けていかねばなりません。道を切り開いた人々は、富を築き生きています。

岸田現総理の「成長と分配」をするには、人々の付加価値を上げる必要があります。今までは人口が増加して新しい多くの人材が投入され、分配をすることが出来てきましたが、これからはそれを望むことはできません。

日本の生産年齢(15~64才)は2045年を見ても減り続けます。今までも減り続けてきたわけですが、今日までの25年間はどうかということ、家庭にいた女性・高齢者の労働参加によって補ってきたのです。しかし、人口減少社会になり労働者の奪い合いが起きます。奪い合いになれば生産性の高い所に流れます。

今後、人材不足の深刻度は深まるばかりし

かし、企業は常に「成長」し続けねばなりません。そのためにはどうしたらよいか?

- 一人一人の付加価値を上げることです
- 一人一人の付加価値を上げる余地はあるのか
- 一人一人の付加価値を上げるには?

各自の持ち場で今まで済ませてきた方法に疑問を持とう。毎日毎日行う同じ様な事務処理は簡素化できないのか?見積書、請求書、日報の書き方は?パソコンの能力を使っていますか?Wordを使っていますか?Excelの力を使っていますか?VBAを勉強していますか?PYTHONを勉強していますか?

常に前向きに考え一人一人が自分自身の磨きを忘れなければ、成長の分配を受けることはできます。

ご清聴ありがとうございました。

サンワのWw!

作/三宅よしこ No.12



DXを目指して

DX(ディーエックス/デジタルによる変革)の第一歩は「ペーパーレス化」。近い将来、請求書や通帳がなくなってペーパーレス化が当たり前の時代がやってきます。個人の生活も同じで、電気料金など公共料金のお知らせや給与明細などもペーパーレス化になり、三和サービスでもペーパーレス化を目指します。まずはパソコンやスマホが使えるように今から準備し、個人のメールアドレスを持ちましょう。今回は誰でも簡単に無料でメールアドレスを取得できる二つの方法をお伝えします!

Gメールアカウント(アドレス)の取得方法

1. スマートフォンを準備します。
 2. Googleのホームページを開き、
 3. 右上の「Gmail」をタップします。
 4. 「アカウントを作成」をタップします。
 5. 「姓」「名」「ユーザー名」「パスワード」を入力します。
 6. 「生年月日」「性別」を入力します。
- プライバシーポリシーと利用規約が表示されます。よく読んでか

Yahoo!メールアドレスを新規作成するには、Yahoo! JAPAN IDの登録(無料)と同時に行います。

1. Yahoo!メールアドレスを新規作成するには、Yahoo! JAPAN IDの登録(無料)と同時に行います。
2. スマートフォンを準備します。
3. Yahoo! JAPANのホームページを開き、右上のメールのアイコンをタップします。
4. Yahoo! JAPAN ID登録フォームで「新規取得」をタップします。
5. 携帯電話番号を入力します。
6. 携帯電話にショートメールが届いたら、そこに記載されている確認コードを入力して「確認する」をタップします。
7. 下記の属性情報を入力します。
□性別 □生年月日 □郵便番号 □表示名(セキュリティ上 本名ではないほうが望ましい) □メールアドレス(@より前の部分を決めます。これがYahoo! IDにもなります)
8. Yahoo!の事業に協力するかを選びます(メールを使うだけなら、チェックを外します)。
9. 「登録する」をタップします。
10. PayPayの利用、Tポイントの利用の有無を選択します。
11. 「次へ」をタップすると設定が完了し、Yahoo!メールアドレス使えるようになります。

私もできる! SDGs 「ペーパーレス化」



三和サービスではペーパーレス化を目指し、現在紙で発行している給与明細を今後は電子メールを利用し送付することになります。そのため今回のSDGsでは「目標15.陸の豊かさを守ろう」に関するペーパーレス化についてご紹介します。

●ペーパーレス化とは?

ペーパーレス化とは、その名の通り紙をなくすことを意味しており、紙媒体を電子化してデータとして活用・保存することを指します。

●なぜペーパーレス化が必要か

紙の原料は木です。そのため紙を使うためには、森林伐採などで自然を破壊しなければなりません。森林には二酸化炭素を酸素に変えるという重要な役割があるため、森林が減少すると地球全体の二酸化炭素の量が増えることとなり、地球温暖化にも影響が出てきます。ペーパーレス化は、森林伐採による自然破壊を軽減し、地球温暖化の加速を食い止めるためにも必要な対策となります。

紙媒体の方が良いと思う方もいると思いますが、ペーパーレス化の推進を通じて、限りある地球の資源を守っていきましょう!

- 紙の再利用(リユース)によって紙の使用量が削減できるので、紙の製造に由来するCO2排出量や水使用量の削減に貢献できます。

- 一般的にペーパーレスを進めることによるメリットには、下記などが挙げられます。

- ①コストの削減
- ②作業効率の向上
- ③安全性の向上



2021年最優秀作品賞 労働安全衛生標語

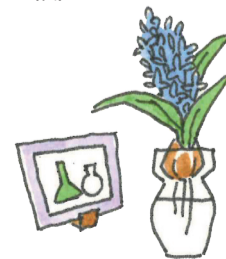
慣れるほど 忘れてしまうその危険 習慣づけよう再確認

◆◆◆ 編集室から ◆◆◆

新年あけましておめでとうございます。今年(株)三和サービスが創立50周年を迎えます。世の中が急速にデジタルへと変わっているこの時代。新しく一步を踏み出していきます。今回もデジタル社会にむけて、メールなどの必須事項を取り上げました。今年一年はDXに向けての発信をしますので必ず読んでくださいね。皆様にとって今年一年が幸せでありますよう編集者一同願っております。今年もどうかブライトネスをよろしくお願いたします。

三和グループ社内報 2022年 新春号(令和4年1月25日発行)
発行所 株式会社三和サービス
本社/〒500-8286 岐阜市西鶴1丁目52番地
電話/058-273-5653(代)

Brightness



横山セミナー 学ぼう! 公会計

令和2年5月から、滋賀大学経済学系 横山幸司 教授を講師にお招きして、官民連携セミナーを毎月1回本社多目的ホールで開催しています。令和2年度は、指定管理者制度についての解説セミナーを9回開催しました。令和3年2月からは、PFI制度についての解説セミナーを8回開催しました。令和3年10月からは、公会計について解説セミナーを現在3回開催しました。

このように、セミナーを受講して専門知識を勉強することで、指定管理施設運営に活かすことができると思います。そして、官公庁との協議事項に正しく判断出来る力をつけるために実施しています。現在は、公会計を勉強中で、自治体の財務状況も事業を進める上での判断材料にしていきたいと考えています。当社社員なら誰でも受講できるセミナーですので、ご興味のある方は本社竹村までお問合せください。